

(4)みらさか土地区画整理事業地居住景観形成地区(別図4-A赤線枠内)

① 地区特性

三次市の生活拠点の1つである三良坂地区において、馬洗川で分断されている下郷地区と三良坂駅前の既存商店街を結ぶ幹線道路の新設に併せて両地区を一体的に面整備し、三良坂駅前市街地の再整備及び宅地整備を行い、生活拠点機能の強化に向けたまちづくりを推進しています。

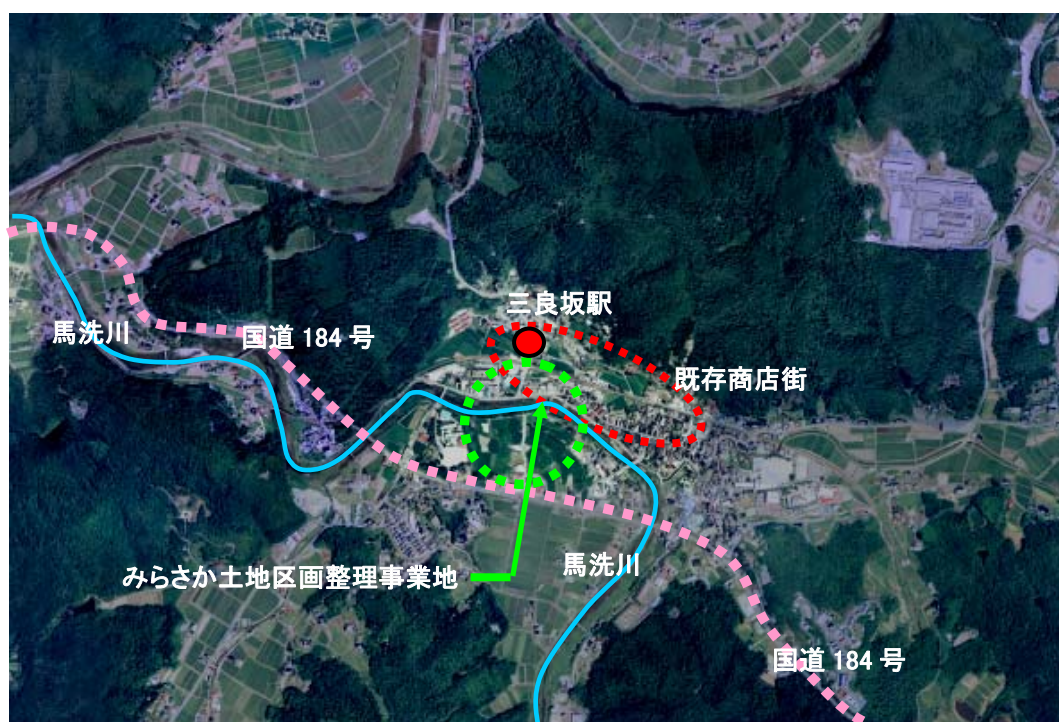


図4-1 現況

② 景観特性

- 周囲は山に囲まれ、地区内を馬洗川が貫流しています。
- 馬洗川の北側は、三良坂駅前の商店街の一部を形成しており、川沿いに木造の家屋が建ち並ぶ景観がみられます。
- 国道184号沿道は、商業業務施設が立地し、その背後の平坦地に、みらさか土地区画整理事業による宅地化が進んでいます。

③ 景観形成目標

馬洗川及び周辺の山林の自然景観と調和したゆとりと潤いのある景観形成をめざします。

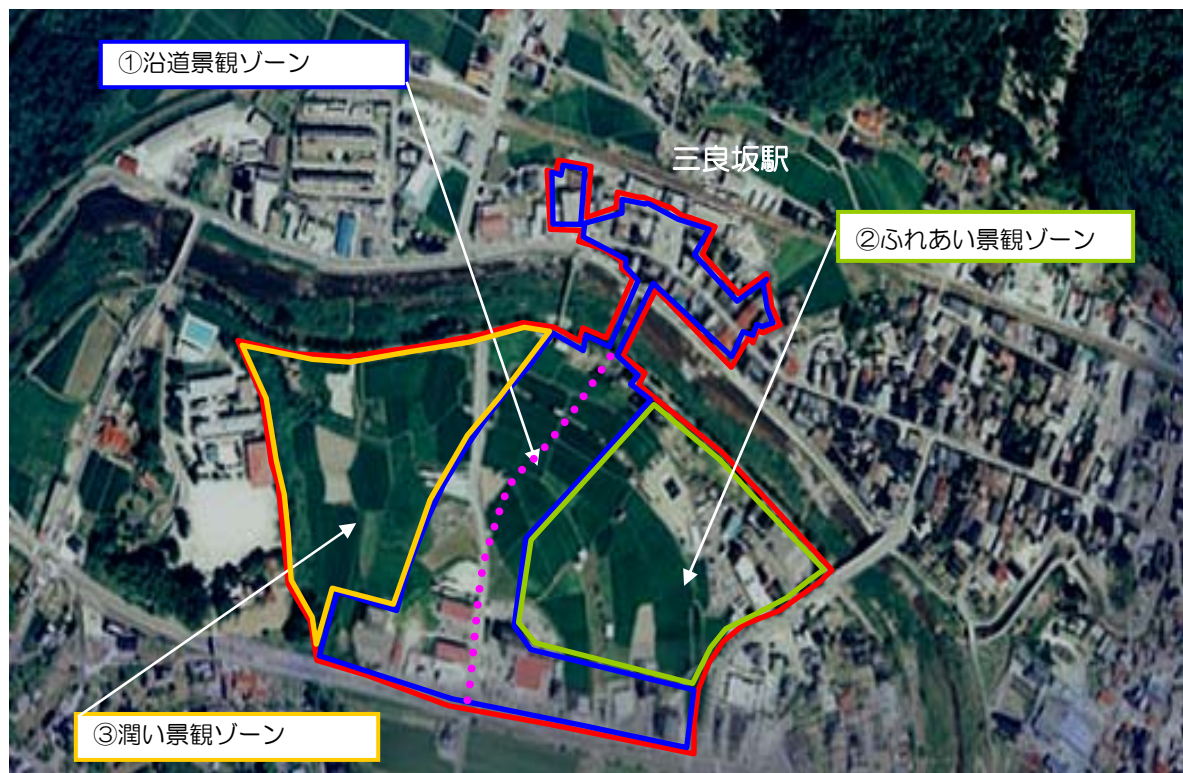
したがって、景観形成にあたっては、次のことを柱として、重点的な景観形成に取り組めます。

- ①幹線道路沿道は、自然景観の眺望確保及び連続性のある街並み景観を形成します。
- ②周辺の自然環境との調和を図り、ゆとりと潤いのある景観を創出します。



図4-2 課題図

④ 景観形成方針(別図 4-A 参照)



別図 4-A

1) 沿道景観ゾーンは、開放的な空間と地区の自然景観を連続させる街並み景観を形成します。

- 背景となる山と空を見せる建築物の配置に配慮した街並み形成を図ります。
- 周辺の山並みと調和を図るため、四季を感じさせる「花木」を採用した緑化を行います。
- もてなす景観軸となる連続性のある街並みを形成し、既成市街地との連携を図ります。
- 屋外広告物の形状や色彩は、周辺との調和に配慮します。

2) ふれあい景観ゾーンは、地域のコミュニティを拠点として、緑あふれる開放的な景観形成を図ります。

- 道路や建築物まわりのオープンスペースやゆとりを確保します。
- 工作物などは、自然素材や色彩構成に配慮して自然の景観と調和を図ります。

3) 潤い景観ゾーンは、周辺の自然環境との調和を図り、ゆとりと潤いのある景観を創出します。

- 建物の外観は、周囲の環境と調和を図り、高明度や高彩度のものは避けるようにします。
- 自然に馴染む落ち着いた色のある街並み形成を図ります。